

# Electric Power-Related Business

## 電力周辺関連事業



### 事業の概要と特徴

電力周辺関連事業は、電気事業の円滑かつ効率的な遂行をサポートする事業を展開しており、具体的には電力設備の設計・施工・点検保守や、石炭の輸入、自社専用船を活用した石炭輸送等、発電所や送・変電設備の運営に必要な周辺事業を実施しています。国内卸電気事業の電力設備の保守については、J-POWERと子会社が一体となって行っています。

### 石炭調達

J-POWERは、年間約2,100万tの一般炭を調達する日本最大のユーザーとして、主に豪州やインドネシアから石炭を輸入しています。そのうち豪州では子会社を通じて3つの炭鉱プロジェクトの権益を保有しています。

世界の石炭需給は、中国・インドをはじめとする新興国の需要やLNG等の石炭以外のエネルギー資源動向、その他地政学的要因等によって大きく変動します。こうした中において、J-POWERは火力発電用燃料としての石炭を長期安定調達すべく、炭鉱権益等上流部分での関与を拡大するとともに、多様な調達ソースを確保しています。



### 炭鉱プロジェクト

(2015年3月末現在)

炭鉱名	所在地	積出港	2014年生産量 <sup>*1</sup>	当社取得権益 <sup>*2</sup>	出炭開始年
クリアモント炭鉱	クイーンズランド州	ダーリンプルベイ港	1,215万t (約1,200万t/年)	15%	2010年
ナラブライ炭鉱	ニューサウスウェールズ州	ニューキャッスル港	548万t (約600万t/年)	7.5%	2010年
モールズ・クリーク炭鉱	ニューサウスウェールズ州	ニューキャッスル港	— (約1,070万t/年)	10%	2014年

\*1 括弧内の生産規模は想定されるピーク生産量を記載しています。

\*2 子会社であるJ-POWERオーストラリア社を通じて出資しています。

(注) 当社グループが10%の権益を取得しているプレアソール炭鉱は、2012年11月に生産を終了しています。